



2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL http://www.beauty-kadan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口絹子 (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績 (2018年7月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	4,496	5.6	20	△74.6	27	△69.0	6	△86.4
2018年6月期第3四半期	4,256	△2.9	79	—	87	—	50	—

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 6百万円(—%) 2018年6月期第3四半期 50百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	1.69	—
2018年6月期第3四半期	12.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	2,547	568	22.3
2018年6月期	2,282	590	25.9

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 568百万円 2018年6月期 590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	7.11	7.11
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	8.30	8.30

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想 (2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,110	8.7	179	7.0	167	0.5	112	46.3	27.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規1社 株式会社アグリフラワー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年6月期3Q	5,076,000株	2018年6月期	5,076,000株
② 期末自己株式数	2019年6月期3Q	1,026,552株	2018年6月期	1,026,552株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年6月期3Q	4,049,448株	2018年6月期3Q	4,049,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法摘要の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年7月1日から2019年3月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益の改善が進み、雇用・所得環境は緩やかな回復基調にありましたが、少子高齢化・人口減少に伴う慢性的な人手不足の状態は続いており、また米中貿易摩擦などの通商問題や海外経済の不確実性等もあり、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、コア事業(生花祭壇事業)での売上拡大、生花卸売事業における物流のサービス強化と高度化、管理部門の体制強化、周辺事業の水平展開等を重点目標とした、2期目となる中期経営計画に基づき、各施策を実行してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、生花祭壇事業・生花卸売事業において前年同期比で増加したことから、4,496,586千円(前年同期比5.6%増)、営業利益は、主に生花祭壇事業における原価や人件費上昇等の影響により、20,222千円(前年同期比74.6%減)、経常利益は27,165千円(前年同期比69.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,825千円(前年同期比86.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、2,559,885千円(前年同期比0.8%増)と、第3四半期連結累計期間としては2期連続で過去最高となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2018年7月から2019年2月までの売上高は横ばい、取扱件数は微増で推移しており、この数年の傾向につきましても、大都市圏を中心として葬儀単価は下落しつつも件数が増加し、売上は拡大している状況です。

このように葬儀業全体では市場は拡大傾向にあり、その中でも上述のとおり特に大都市圏において「家族葬」や「密葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向が続いておりましたが、今後は地方都市におきましてもこの傾向が徐々に顕在化してくるものと考えられ、その兆候は一部見え始めております。

このような状況の中で、当事業では、強みである機動力や顧客ニーズへの対応力を活かすべく、関東・四国・九州エリアへ新たに拠点を展開する等、積極的に各施策を実行し、売上増加策や仕入原価の更なるスリム化等にも取り組んでまいりました。一方で、第2四半期の前半において、国内における天候不良の影響等による仕入原価の高騰並びに、上述の新規拠点開設に伴うコスト増加の影響もあり、営業利益は370,591千円(前年同期比16.4%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、連結子会社のマイ・サクセス株式会社において、同社への会社分割・事業承継以来、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりましたが、前期後半より奏功の兆しが見えはじめ、当期において顕在化いたしました。

この結果、売上高は1,356,993千円(前年同期比16.0%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2019年3月)によると、2018年7月から2019年3月までの切花累計の取扱金額は44,865百万円(前年同期比0.8%増)、数量では649百万本(前年同期比2.2%減)と金額ベースでは横ばい、数量ベースでは減少の傾向にありました。

このような状況の中で、当事業では前期に引き続き、従来の生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みにも注力しているものの、第2四半期の後半において輸入卸売部門における利益率が低調に推移したため、その結果営業利益は15,924千円(前年同期比34.6%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、244,704千円(前年同期比3.2%減)となりました。少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウェディングやレストラン・ウェディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、未だ大きな市場規模が保持されております。

このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける新規顧客獲得と商圏拡大、リテール部門での更なる売上増、及び販管費の圧縮・効率化策を実施しており、一部にその効果は出はじめたものの、売上高が低調に推移したことと人件費が増加したこと等により、営業損失は8,908千円(前年同期は6,579千円の損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、黒字化には至らなかったものの、各事業ともに対前期比では総じて堅調に推移したため、売上高は335,003千円(前年同期比14.1%増)、営業損失は26,296千円(前年同期は46,322千円の損失)となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。不動産管理事業は、不動産の売買や賃貸等の仲介及び管理を行っております。農業は、花卉の生産・販売を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ265,322千円増加し、2,547,618千円となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ287,320千円増加し、1,979,541千円となりました。これは主に、短期借入金、買掛金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ21,977千円減少し、568,076千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の連結業績予想につきましては、2018年8月14日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	772,659	992,273
売掛金	559,125	542,404
商品	19,331	25,938
仕掛品	2,518	7,062
原材料及び貯蔵品	29,921	51,643
その他	67,758	51,883
貸倒引当金	△12,338	△8,163
流動資産合計	1,438,976	1,663,043
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	485,735	543,011
減価償却累計額	△231,820	△240,708
建物及び構築物(純額)	253,914	302,303
車両運搬具	30,548	34,961
減価償却累計額	△20,034	△22,824
車両運搬具(純額)	10,513	12,136
工具、器具及び備品	163,216	169,154
減価償却累計額	△147,209	△139,470
工具、器具及び備品(純額)	16,007	29,684
土地	217,004	232,103
建設仮勘定	7,521	378
その他	11,065	15,042
減価償却累計額	△5,373	△7,662
その他(純額)	5,691	7,379
有形固定資産合計	510,653	583,986
無形固定資産		
のれん	10,626	2,656
その他	50,504	37,330
無形固定資産合計	61,131	39,986
投資その他の資産		
差入保証金	62,239	48,780
繰延税金資産	21,396	25,099
保険積立金	148,972	167,593
破産更生債権等	149,769	13,758
その他	31,978	16,510
貸倒引当金	△142,821	△11,139
投資その他の資産合計	271,534	260,601
固定資産合計	843,319	884,575
資産合計	2,282,295	2,547,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,065	246,521
短期借入金	100,000	270,000
1年内返済予定の長期借入金	331,955	309,791
1年内償還予定の社債	7,100	7,100
未払金	92,274	84,362
未払法人税等	27,211	5,361
賞与引当金	8,197	26,564
その他	239,516	193,840
流動負債合計	965,320	1,143,542
固定負債		
社債	28,700	21,600
長期借入金	595,214	718,475
リース債務	38,492	29,626
退職給付に係る負債	52,623	53,108
その他	11,869	13,189
固定負債合計	726,900	835,999
負債合計	1,692,221	1,979,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	463,398	441,432
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	590,060	568,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	△17
その他の包括利益累計額合計	13	△17
非支配株主持分	—	—
純資産合計	590,073	568,076
負債純資産合計	2,282,295	2,547,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	4,256,604	4,496,586
売上原価	3,441,159	3,741,649
売上総利益	815,445	754,937
販売費及び一般管理費	735,861	734,714
営業利益	79,584	20,222
営業外収益		
受取利息及び配当金	247	49
受取賃貸料	1,488	1,789
保険返戻金	4,931	1,700
為替差益	8,840	3,164
その他	13,788	9,114
営業外収益合計	29,296	15,818
営業外費用		
支払利息	11,697	8,412
その他	9,573	462
営業外費用合計	21,271	8,874
経常利益	87,609	27,165
特別利益		
新株予約権戻入益	5,274	-
特別利益合計	5,274	-
特別損失		
固定資産除売却損	1,677	297
リース解約損	3,037	113
特別損失合計	4,714	411
税金等調整前四半期純利益	88,168	26,754
法人税、住民税及び事業税	35,635	24,527
法人税等調整額	2,195	△4,597
法人税等合計	37,830	19,929
四半期純利益	50,338	6,825
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,338	6,825

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	50,338	6,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	△31
その他の包括利益合計	20	△31
四半期包括利益	50,358	6,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,358	6,794
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2018年3月31日)

1. 配当金支払額

無配のため、該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年9月27日 定時株主総会	普通株式	28,791	7.11	2018年6月30日	2018年9月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法摘要の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました株式会社アグリフラワーにつきましては、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,540,139	1,170,233	252,706	3,963,079	293,525	—	4,256,604
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,944	639,935	1,936	646,816	3,715	△650,532	—
計	2,545,083	1,810,169	254,643	4,609,895	297,241	△650,532	4,256,604
セグメント利益 又は損失(△)	443,466	24,337	△6,579	461,224	△46,322	△335,317	79,584

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業並びに就労継続支援事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△335,317千円には、セグメント間取引消去38,640千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△373,957千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,559,885	1,356,993	244,704	4,161,583	335,003	—	4,496,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,200	653,083	1,862	660,147	12,118	△672,265	—
計	2,565,086	2,010,077	246,566	4,821,730	347,121	△672,265	4,496,586
セグメント利益又は 損失(△)	370,591	15,924	△8,908	377,607	△26,296	△331,089	20,222

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△331,089千円には、セグメント間取引消去31,850千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△362,939千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。